

◇ 学校関係者評価の結果

学校評議員会にて、自己評価の結果をもとに学校関係者評価を実施（平成22年2月24日）

学校関係者（学校評議員）の意見

- ◎ 開かれた学校に関する項目で、昨年度に比べて評価が上がった。特に、三者面談や教育相談の項目の数値が上昇している。
- 親は自分の子どもを見て評価しているので、親の評価が上がっているということは、学校への信頼が厚くなっているといえる。
- 保護者に対して、年度当初に評価項目を示しておく、11月の学校評価のときに評価しやすくなるとともに、さらに保護者の意識が高まるのではないかと。
- 基礎基本の定着とあるが、大人がしっかりと押さえていく必要がある。「はままつマナー」の保護者版がほしい。
- 年寄りや地域の人々が注意しにくい時代になってきているので、「はままつマナー」を保護者や地域にアピール・情報発信してほしい。
- 保護者の中に「0」評価の多い項目があり、子どもの教育に対して無関心な保護者がいることも事実であり、今後学校やPTA、地域から、そうした保護者への働き掛けが必要である。
- 教師も忙しいと思うが、通常の校内掲示（高学年）が寂しいときがある。
- 学校とPTAが協力して、懇談会の出席率をもう少し上げたい。時代も変わっているので、もう少し工夫をしていきたい。
- 教師も指導していると思うが、姿勢の悪い子が気になる。家庭でのしつけの問題ではあるが、学校でもさらなる指導をお願いしたい。
- 厳しい大人が減ってきているため、地域でマナーを教える人がいない。また、そういう機会が減ってきている。